

事務事業	11012	私立教育保育施設一時預かり事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	保育係 瓜生 康亮
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	2	保育園費
法令根拠条例等			子ども・子育て支援交付金交付要綱 福岡県一時預かり事業費補助金交付要綱		個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		27 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 保育所、幼稚園、認定こども園において、子どもを一時的に預かることで、保護者が安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。 保育所の別府つくし保育園で一般型の一時預かりを実施。認定こども園のみなみの風こども園では一般型と幼稚園型(在園している1号認定の一時預り)を、空とぶくじら幼児園志免本園で、幼稚園型の一時預かりを実施している。また、町外の空とぶくじら幼児園宇美園とチムニーズENGLISHスクールで、志免町在住の子どもが幼稚園型の一時預かりを利用している。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 一時預かり事業を実施している私立教育・保育施設から事業の実績報告を受け、適正な事業内容を確認し、補助金の交付を行う。	主 な 事 業 費 の 内 訳 一時預かり保育事業補助金 5,421 千円 千円 千円 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的 ① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ①私立教育・保育施設から一時預かり事業の実績報告受付②補助金の交付決定③補助金の交付 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 未就学児童の保護者 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 必要な時に子どもを預けられる。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 年間の延べ利用人数</td> <td>人</td> <td>2,473</td> <td>4,008</td> <td>4,000 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 年間の延べ利用人数	人	2,473	4,008	4,000 (見込)	イ				(見込)	ウ				(見込)																																		
			指標数値																																																										
	名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																								
	ア 年間の延べ利用人数	人	2,473	4,008	4,000 (見込)																																																								
	イ				(見込)																																																								
	ウ				(見込)																																																								
⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 就学前児童数</td> <td>人</td> <td>3,236</td> <td>3,552</td> <td>3600 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 就学前児童数	人	3,236	3,552	3600 (見込)	イ				(見込)	ウ				(見込)																																			
		指標数値																																																											
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																									
ア 就学前児童数	人	3,236	3,552	3600 (見込)																																																									
イ				(見込)																																																									
ウ				(見込)																																																									
⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 利用者数(述べ)</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>2,400</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2,473</td> <td>4,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 利用者数(述べ)	人	目標	-	2,400	4,000	実績	2,473	4,000		イ		目標				実績				ウ		目標				実績				エ		目標				実績				オ		目標				実績			
		指標数値																																																											
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																									
ア 利用者数(述べ)	人	目標	-	2,400	4,000																																																								
		実績	2,473	4,000																																																									
イ		目標																																																											
		実績																																																											
ウ		目標																																																											
		実績																																																											
エ		目標																																																											
		実績																																																											
オ		目標																																																											
		実績																																																											

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等		3,457	3,286	3,779	4,326	4,326
受益者負担等								
一般財源			2,735	1,643	1,642	2,165	2,165	2,165
合計(A)			6,192	4,929	5,421	6,491	6,491	6,491
(内臨時・嘱託職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		446	493	614	531		
	トータルコスト(A)+(B)		6,638	5,422	6,035	7,022	6,491	6,491

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、子ども・子育て支援の着実な推進を図るために、子ども・子育て支援交付金交付要綱が制定された。交付対象になる地域子ども・子育て支援事業が13事業あり、その一つに一時預かり事業がある。	子ども・子育て支援新制度が始まる前も、一時預かり事業に対する補助金はあったが、対象施設が保育所だけだった。しかし、子ども・子育て支援新制度では、保育所だけでなく、幼稚園、認定こども園も対象施設になった。また、町内の施設だけでなく、町が委託している他市町村の施設も対象施設になった。	事業実施施設は、引き続き安定した運営ができるように継続した補助を希望している。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成28年度においても平成27年度と同様の「私立教育保育施設一時預かり事業」を実施する。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	事業実施施設は、補助金により安定した運営が行え、保護者が安心して子どもを預けることができる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	多様な保育環境の充実として、地域子ども・子育て支援事業の一時預かり事業は、町の基本方針と合っている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	事業実施施設が増加すれば、多くの保護者が安心して子供を預けることができるが、新たに事業を実施する施設が見込めないため。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	廃止した場合は、事業実施施設での安定した運営ができなくなり、保護者が安心して子どもを預けることができなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	補助金の大部分は、一時預かり事業を行う上で、保育士の人件費にあたる。そのため、補助金額を削減すると適正な保育士を確保できなくなるので、これ以上削減する方法はない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

平成27年度に子ども・子育て支援新制度が始まり、新たに、認定こども園のみなみの風こども園、空とぶくじら幼稚園でも事業を開始している。また、他市町村の施設に入所している志免町在住の児童が一時預かりを利用した場合、補助金の対象になるので、利用状況の把握のため、今後も他市町村との連携が必要である。
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果 平成29年度においても平成28年度と同様の「私立教育保育施設一時預かり事業」を実施する。
---	--